

# バックアップ装置

# バックアップ装置

## 1.概要

型名	製品名
<b>内蔵 DAT</b>	
N8151-12BC	内蔵 DAT
N8151-26	内蔵 DAT
<b>外付 DAT</b>	
N8560-22	外付 DAT
<b>外付 DAT 集合型</b>	
N8560-13AC	外付 DAT 集合型
N8560-23	外付 DAT 集合型
<b>外付 DLT</b>	
N8560-14	外付 DLT
<b>外付 DLT 集合型</b>	
N8560-11	外付 DLT 集合型
N8560-15	外付 DLT 集合型

## 2.機能仕様

DAT

	N8151-12BC	N8151-26
形態	内蔵単体	内蔵単体
規格	DDS1/2/3	DDS1/2/3/4 *4
非圧縮時容量(GB)	2/4/12	2/4/12/20
平均圧縮容量(GB) *1	4/8/24	4/8/24/40
実効転送速度 *2	1.18MB/s *3	2.36MB/s *5
カートリッジ収容数	-	-

	N8560-22	N8560-13AC	N8560-23
形態	外付単体	外付集合型	外付集合型
規格	DDS1/2/3/4 *4	DDS1/2/3	DDS1/2/3/4 *4
非圧縮時容量(GB)	2/4/12/20	2/4/12	2/4/12/20
平均圧縮容量(GB) *1	4/8/24/40	4/8/24	4/8/24/40
実効転送速度 *2	2.36MB/s *3	1MB/s *3	3MB/s *5
カートリッジ収容数	-	6	6
外形寸法(W×D×H)(mm)	198×256×64.5	165×270×134	165×269×135
消費電力	120VA(max)	35VA(typ) 25W(typ)	35VA(typ) 13.4W(typ)
質量	2.3Kg	5.0Kg	4.5Kg
AC ケーブル長	2.5m	2.2m	2.2m

\*1)平均圧縮容量は圧縮比率を 2:1 と仮定した場合の値

\*2)実効転送速度は非圧縮時の値

\*3)DDS3 カートリッジテープを使用した場合の値

\*4)DDS1 テープは読み込み(READ)のみ可能

\*5)DDS4 カートリッジテープを使用した場合の値

## DLT

	N8560-14	N8560-11	N8560-15
形態	外付単体	外付集合型	外付集合型
規格	DLT7000	DLT4000	DLT7000
非圧縮時容量(GB)	35	20	35
平均圧縮容量(GB) *1	70	40	70
実効転送速度 *2	5.0MB/s	1.5MB/s	5MB/s
カートリッジ収容数	-	5	7
外形寸法(W×D×H)(mm)	229×325×124	414×267×300	240×544×559
消費電力	80VA 47W	60VA	100VA
質量	6.7Kg	15.9Kg	36Kg
AC ケーブル長	3m	3 m	3 m

\*1)平均圧縮容量は圧縮比率を 2:1 と仮定した場合の値。

\*2)実効転送速度は非圧縮時の値。

内蔵デバイスのインタフェース

	D-sub ハ - フピッチ 50pin	D-sub ハーフピッチ 68pin	IDE
Single-Ended	内蔵 MO (N8151-25) 内蔵 DAT (N8151-12BC)		
LVD/SE		内蔵 DAT (N8151-26)	

内蔵デバイスの動作速度 (SCSI 側同期転送 最大値)

Fast Narrow (Max 10MB/sec)		Ultra Narrow (Max 20MB/sec)		Ultra Wide (Max 40MB/sec)	
N8151-12BC	内蔵 DAT	N8151-25	内蔵 MO	N8151-26	内蔵 DAT

外付けデバイスのインタフェース

	アンフェノールフルピッチ 50pin	D-sub ハーフピッチ 68pin
Single-Ended	外付 DAT 集合型 (N8560-13AC) 外付 DLT(N8560-11)	外付 DLT (N8560-14)
LVD/SE		外付 DAT (N8560-22) 外付 DAT 集合型 (N8560-23)
Differential		外付 DLT 集合型 (N8560-15)

外付けデバイスの動作速度 (SCSI 側同期転送 最大値)

Fast Narrow (Max 10MB/sec)		Fast Wide (Max 20MB/sec)		Ultra Wide (Max 40MB/sec)	
N8560-13AC	外付 DAT 集合型	N8560-14	外付 DLT	N8560-22	外付 DAT
N8560-11	外付 DLT	N8560-15	外付 DLT 集合型	N8560-23	外付 DAT 集合型

## バックアップ装置対応ソフトウェアについて

バックアップ装置とバックアップソフトの対応は以下の通りです。組み合わせにご注意ください。

	型名	製品名	NT Backup		ARCserve						
			Windows NT 4.0	Windows 2000	ARCserve J6.0	Changer Option J2.0	ARCserve J6.5	Tape Library Option J3.0	ARCserve/T 6.61 for WindowsNT/2000	ARCserve 2000	Tape Library Option
対応 OS	Windows NT 4.0			-							
	Windows 2000		-		-		-		*5		
DAT	N8151-12BC	内蔵 DAT	*1		*2	-		-			-
	N8151-26	内蔵 DAT			x	-	x	-	*6		-
	N8560-22	外付 DAT			x	-	x	-	*6		-
	N8560-13AC	外付 DAT 集合型	x		*3						-
	N8560-23	外付 DAT 集合型	x	x	x		x		*7		-
DLT	N8560-14	外付 DLT	x	x		-		-			-
	N8560-11	外付 DLT 集合型	x	x							-
	N8560-15	外付 DLT 集合型	x	x	x		*4				-

	型名	製品名	Backup Exec					NetBackup 3.2
			Backup Exec 7.0J	オートロータオプション	Backup Exec 7.3/7.2	オートロータオプション	Backup Exec 8.0	
対応 OS	Windows NT 4.0							
	Windows 2000		-		-			-
DAT	N8151-12BC	内蔵 DAT		-		-		x
	N8151-26	内蔵 DAT	*8	-	*8	-		x
	N8560-22	外付 DAT	*8	-	*8	-		x
	N8560-13AC	外付 DAT 集合型						
	N8560-23	外付 DAT 集合型						x
DLT	N8560-14	外付 DLT		-		-		*9
	N8560-11	外付 DLT 集合型						*9
	N8560-15	外付 DLT 集合型						*9

- \*1: Windows NT 4.0 ではテープデバイスに「4mm DAT ドライブ」を選択願います。
- \*2: ARCserve J6.0 Service Pack1 以降(SP3 推奨)を適用願います。
- \*3: ARCserve J6.0 Service Pack3 を適用願います。
- \*4: ARCserve J6.5 Patch05 以降(Patch07 を推奨)
- \*5: ARCserve/IT の Windows2000 対応版(W2K 専用)を手配願います。
- \*6: Windows2000 版では標準サポート、WindowsNT 版では build 893 へのアップデートと Patch02 以降を適用願います。
- \*7: Windows2000 版では標準サポート、WindowsNT 版では build 893 へのアップデートと Patch03 以降を適用願います。
- \*8: ベリタス社のホームページ(<http://www.veritas.com/jp/>)より最新ドライバをダウンロード願います。(7.0, 7.2 を使用の場合)
- \*9: NetBackup で DLT ドライブを使用する場合は、対応するドライバを QUANTUM 社のホームページ(<http://www.quantum.com/>)からダウンロード願います。

ARCserve の Service Pack、修正モジュールは ESS に添付されていますが、コンピュータ・アソシエイツ社のホームページ(<http://www.caj.co.jp/>)からもダウンロードできます。

ARCserve/IT 6.61 WindowsNT 版 build 893 は ESS RL2000/06 に収録されているほか、コンピュータ・アソシエイツ社ホームページより体験版を申し込む事で入手できます。ESS RL2000/03 以前でインストールしている場合は ESS EL2000/06 以降またはコンピュータ・アソシエイツ社より入手した体験版を上書きインストールしてください。

Backup Exec の修正モジュール/ドライバはベリタス社のホームページ(<http://www.veritas.com/jp/>)からダウンロードできます。

注: ARCserve/IT、ARCserve でリストアの際は、バックアップ時と同型の装置をご使用下さい。異なるテープ装置間でのデータ交換はサポートしていません。ARCserve/IT、ARCserve ではテープ装置種別により制御が異なるため、同一規格のテープを使用しても、別種類の装置ではエラーが発生する、テープを認識できない、リストアできないという現象が発生する場合があります。